

1 題材名 学級レクリエーションをしよう【内容(1)】 指導の時期 6月

2 題材について

学級でイベントやレクリエーションを企画し、学級活動の時間に実施することは日常  
 的によく行われている活動である。6年生の4・5月は、小学校最後の年を充実させよ  
 うと、一人一人が意欲に満ちている。そのような時期に、学年の各学級それぞれの人間  
 関係をさらに深めて学級を一致団結させ、学級生活を楽しく協力して過ごせるようにこ  
 の題材を設定した。学級の計画委員で計画し、話し合い活動で学級の意見をまとめさせ  
 た。話し合いにあたっては、1つの種目や競技を実施するために意見を集約する場合もあ  
 れば、いくつかの種目や競技を実施する場合もあるということが考えられる。話し合いに  
 折り合いをつけながら、学級が1つにまとまるような活動となるよう期待する。

3 題材の目標

- 学級の一致団結と協力の精神が大切であることに気付き、計画委員が中心となって  
 学級全員で楽しめるレクリエーションの計画を考えようとする。(関・意・態)
- 学級全員で楽しめるレクリエーションの計画のために、様々なアイデアや会の進め  
 方の工夫などについて提案し、実行することができる。(思・判・実)
- 学級生活の充実のためには、みんなで一致団結したり、一人一人が協力したりする  
 ことが大切であることが分かる。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 話し合い活動では、自分の意見に固執せず、全員が楽しめる活動は何かということ  
 を考えながら参加し、どのような活動内容がよいか判断する。(判断力)
- ◆ 友達と協力し、学級で一致団結することの大切さを確認することで、友情・信頼の  
 心を育む。(2-(3) 友情・信頼、助け合い)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

| 児童の活動内容(活動の場)  | 教師の支援(○)   |
|--|--|
| ・ レクリエーションで実施<br>したい種目や競技について<br>考えて記入しておく。<br>(休み時間・学級会ノート) | ○ ルールが複雑な活動とそうでない活動、体を動<br>かす活動とそうでない活動など、様々な視点から<br>考えて全員が参加しやすい内容を考えるよう助言<br>する。 |

(2) 本時の活動(第1時)

- ① 活動テーマ例 「学級レクリエーションをしよう」  
 ② 活動のねらい 学級生活がより楽しくなるような活動計画を立てよう。

|        | 児童の活動内容  | 教師の支援(○)・評価(◇)  |
|--------|--|---|
| 開<br>始 | 1 計画委員(司会グル<br>ープの)を中心に、議<br>題の確認や提案理由に<br>ついて発表する。                                      | ○ いつ実施するのか、何時間目に実施するのか等、<br>児童が考えやすいように概要を説明する。<br>○ 話し合い活動の目的や本時のめあてを再確認させ、<br>話し合いの助言者として、方向性を示す。   |
| 展<br>開 | 2 実施したい種目や競<br>技について意見を出し<br>合う。<br>3 出てきた意見をもと<br>に、比べ合う。<br>4 比べ合ったことをも<br>とに、意見をまとめる。 | ○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発<br>表できていない児童がいれば、発表するよう促す。<br>○ 論点がずれたり、話題がそれたりした場合は、<br>今、何を話し合っているか確認させる。<br>◇ 学級生活がより楽しくなるような活動を考え、<br>話し合い活動に参加することができたか。 |
| 終<br>末 | 5 本時の活動をふり返<br>り、教師の話聞く。   | ◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。   |

(3) 事後の活動(第2時に向けた事前の活動)

| 児童の活動内容(活動の場)  | 教師の支援(○)・評価(◇)  |
|--|---|
| ・ 話し合い活動で決まったこ<br>とをもとに、計画委員は実<br>施計画の詳細を決定し、報<br>告する。<br>(休み時間・ふれあいタイム) | ○ 実施する際の時間と場所の確保をするとともに、<br>競技や種目のルールなどの詳細について学級内で<br>事前に共通理解できるよう配慮する。 |

(4) 本時の活動(第2時)

- ① 活動テーマ例 「学級レクリエーションをしよう」  
② 活動のねらい 学級生活がより楽しくなるような活動进行しよう。

| 児童の活動内容 |  | 教師の支援(○)・評価(◇)  |
|---------|--|---|
| 開始      | 1 計画委員(司会グループの)が、活動の内容やルールについて説明する。                        | ○ いつ実施するのか、何時間目に実施するのか等、児童が考えやすいように概要を説明する。<br>○ 話合い活動の目的や本時のめあてを再確認させ、話合いの助言者として、方向性を示す。   |
| 展開      | 2 レクリエーションを実施する。<br>(活動例)<br>・ドッジボール<br>・けいどろ<br>・バスケットボール | ○ 勝敗に関わらず、活動の工夫が見られた児童を取り上げ、称賛する。<br>○ 審判が必要なときには児童が公正公平に取り組めているか確認し、運営面で活躍している計画委員に対して称賛や励ましの言葉をかける。<br>◇ 学級の友達と楽しんで活動したり、計画委員が計画にもとづいて協力して運営したりしているか。 |
| 終末      | 5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。                                      | ○ 話合いから活動まで、自分たちで運営することができたことを称賛する。   |

(5) 事後の活動

| 児童の活動内容(活動の場)                           | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|---|--|
| ・レクリエーションを通して学んだことを、学級生活に活かす。<br>(常時活動) | ○ 学級全体で協力して楽しむことができた姿を称賛し、今後の学校行事などでも、今回と同様に協力して計画、実施していくことが大切であることを伝える。 |

1 題材名 運動会のスローガンを決めよう【内容(1)】 指導の時期 6月

2 題材について

運動会は、全校生にとって特別な行事である。また、学校全体としても、教科体育の充実、学級の結束を強める機会として重要である。6年生は、小学校生活最後の運動会になるので、最高の運動会にすることを念頭に置き、よりよい行事にするために何をしたらいいかを考えることもできる。時間に追われることがあったり、準備や練習がつかったりすることもあるが、運動会のスローガンを考えるために話し合う活動を通して、一人一人が運動会に向けての希望や目標をもって準備や練習に取り組み、充実感に満ちた運動会にしたい。そのために、全学年を通して運動会のスローガンについて話し合い活動を行う。

3 題材の目標

- 自分たちが参加する運動会の内容やスローガンについて関心をもち、進んで話し合い活動に参加している。(関・意・態)
- 自分たちが参加する運動会の内容やスローガンについて、友達と話し合い、友達と自分の意見の相違点を考えながら、自分の考えを進んで発表することができる。(思・判・実)
- 自分の考えと友達の考えには共通点があることを知り、目標に向かってみんなで協力することで運動会を成功させることができるということが分かる。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 自分の考えと友達の考えには共通点があることに気づき、自分の考えも友達の考えも大切であるということが分かる。(感受性)
- ◆ 目標をもって運動会に参加することの大切さを知らせ、目標達成のために励まし合いながら粘り強く練習に取り組む態度を育成する。(2-(3) 友情・信頼、助け合い)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

| 児童の活動内容(活動の場)  | 教師の支援(○)   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒川小の運動会について教師の説明を聞く。(朝の会・帰りの会)</li> <li>・ 家庭で運動会のスローガンを考えてくる。(家庭・学級会ノート)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 荒川小の運動会について、写真などを用いて説明する。</li> <li>○ 「スローガン」とは何かを説明し、いくつか例示する。また、保護者と一緒に考えることを伝える。</li> </ul> |

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「運動会のスローガンを決めよう」

② 活動のねらい みんなの思いが1つになるようなスローガンを話し合おう。

|    | 児童の活動内容  | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|----|--|--|
| 開始 | 1 司会の教師を中心に議題の確認や話し合い活動のねらいについて話を聞く。                                     | ○ 「スローガン」とは何かを再度説明し、児童が考えやすいようにする。<br>○ 話し合い活動の目的や本時のめあてを確認させ、話し合いの司会者として、方向性を示す。  |
| 展開 | 2 考えてきたスローガンについて意見を出し合う。<br>3 出てきた意見をもとに、比べ合う。<br>4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。 | ○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発表できていない児童がいれば、発表するよう促す。<br>○ 論点がずれないように、今、何を話し合っているかを確認させながら話し合いを進める。<br>◇ 運動会のスローガンを考え、話し合い活動に参加することができたか。 |
| 終末 | 5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。  | ◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。<br>※ 学級で決まったスローガンは、代表委員会に提出し、運動会のスローガン候補として扱う。   |

(3) 事後の活動

| 児童の活動内容(活動の場)   | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校練習や学年練習の場面でスローガンを思い出し練習に積極的に取り組む。(運動会の練習)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動会の練習時に、児童の活動のよさを見つけ、称賛していく。</li> <li>◇ 友達と励まし合い声をかけ合いながら練習に取り組んでいるか。</li> </ul> |

# 1 題材名 卒業文集【内容(1)】

指導の時期 1 1 月

## 2 題材について

冬休みが近づき、卒業まで3・4か月となってくると、児童は卒業を意識し、小学校生活の記念となることを行いたいと考えるようになる。小学校生活の記念として卒業文集を制作し、学級のページをどのような内容にするか決めたり、学級で協力して学級で協力して作ったりすることは、残りの小学校生活をより楽しくするために有意義なことである。

また、卒業文集の計画や制作を通して、係や班で計画的に活動したり、係や班の友達と楽しく交流する力を育てるよい機会であると考ええる。

## 3 題材の目標

- 自分の学級のよさや学級らしさがある卒業文集作りに関心をもち、これまでの学年文集作りの経験やよりよい卒業文集を作るためのアイデアを話し合う活動に意欲的に参加しようとする。(関・意・態)
- これまでの学年文集作りの経験や学級のページに載せたい内容についての事前アンケートの結果をもとに、学級のよさや学級らしさのある学級のページについて考え、自分の意見を発表することができる。(思・判・実)
- 学級のよさや学級らしさのある文集を作るためには、分担をして互いに協力しながら責任をもって取り組むことが大切であると分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 友達の意見を大切にし、折り合いをつけながら話し合いを進めていこうとする。(判断力)

◆ 学級のよさや学級らしさのある文集の内容を考え、実際に活動することを通して、友達と協力分担し、助け合うことや責任をもって取り組むことの大切さを実感させる。(2-(3) 友情・信頼、助け合い)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

| 児童の活動内容(活動の場)                                | 教師の支援(○)   |
|--|--|
| ・ 学級のページに載せたい内容についてアンケート調査を行う。<br>(朝の会・帰りの会) | ○ 文集作成委員を募る。<br>○ 過去の卒業文集を自由に閲覧できるようにしておき、卒業文集のアイデアを思い付きやすくしたり、卒業文集を作る意欲を高めたりする。 |

### (2) 本時の活動(第1時)

- ① 活動テーマ例 「卒業文集の学級のページを作ろう」
- ② 活動のねらい 小学校生活の思い出や学級らしさのある楽しい卒業文集の学級のページを考えよう。

|    | 児童の活動内容   | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|----|---|--|
| 開始 | 1 司会を中心に議題の確認をし、アンケートの結果を発表する。  | ○ 司会中心に話し合いを進められるよう、必要に応じて助言する。<br>○ 「学級らしさ」を意識して話し合いを進められるよう助言する。   |
| 展開 | 2 卒業文集について考えてきた意見を出し合う。<br>3 出てきた意見をもとに、比べ合う。<br>4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。 | ○ 実施可能な内容か、また作成するまでにどのくらい期間が必要か考えながら話し合いを進めさせる。<br>◇ 小学校生活の思い出や学級らしさのある学級のページを考えることができたか。また、自分の考えを発表し、制作の計画を話し合うことができたか。 |
| 終末 | 5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。   | ◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。  |

### (3) 事後の活動

| 児童の活動内容(活動の場)  | 教師の支援(○)・評価(◇)                            |
|--|---|
| ・ ページごとの制作グループ(文集作成委員)を中心に学級のページを作成する。<br>(休み時間・ふれあいタイム) | ○ 文集作成委員の計画にもとづいて学級のページを制作させ、必要に応じて資料を示す。 |

# 1 題材名 大そうじ【内容(1)】

指導の時期 1 1 月

## 2 題材について

年末は大そうじの時期である。児童にとっても、大そうじは家族行事として行われることも多く、なじみ深いものである。大そうじを行い、感謝の心を育てたい。

6年生は、清掃班の先頭に立って清掃強調週間を学期ごとに経験しており、定期的に大そうじをすることの意義について理解している。また、最上級生として、学級だけでなく学校全体を見て行動する立場となった。これまでの清掃活動の経験から、大そうじの大切さを確認し、普段行き届かない箇所の清掃や、自作の清掃用具を使つての清掃を行うことで、6年間過ごした校舎への思いを込めて活動に参加できるようにする。話し合いにあたっては、1つの活動を実施するために意見を集約する場合もあれば、いくつかの活動を実施する場合もあることが考えられる。話し合いに折り合いをつけさせながら、感謝の心を育てる活動となるよう配慮する。

## 3 題材の目標

- 大そうじの仕方について進んで話し合い活動に参加するとともに、大そうじを行うことで、校舎に「ありがとう」の気持ちを伝えようとしている。(関・意・態)
- ピカピカ計画のために、様々なアイデアや清掃の仕方の工夫などについて意見を発表することができる。(思・判・実)
- 「ありがとう」の気持ちを行動や態度で表すことの大切さが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 話し合い活動では、友達の意見に耳を傾け、学級をきれいにするためのよい意見には積極的に賛成し、行動しようとする。(実践力)
- ◆ 友達と協力して大そうじを行うことで、感謝の心を育てる。  
(4-(4) 勤労、社会奉仕、公共心)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

| 児童の活動内容(活動の場)                                  | 教師の支援(○)   |
|--|--|
| ・ 大そうじで清掃したい場所について考えて記入しておく。<br>(休み時間等・学級会ノート) | ○ 縦割り班清掃では行き届かない箇所の清掃や、普段使うことの少ない清掃用具を使つての清掃を行つてもよいことを伝える。 |

### (2) 本時の活動(第1時)

① 活動テーマ例 「6年○組ピカピカ計画！」

② 活動のねらい 校舎に「ありがとう」の気持ちを伝えるにはどのような活動をしたらよいか話し合おう。

|    | 児童の活動内容  | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|----|--|--|
| 開始 | 1 司会グループの児童を中心に、議題の確認や話し合い活動のねらいについて話を聞く。                                  | ○ 教室に「ありがとう」の気持ちを伝えるためにはどのように清掃を行えばよいか、児童に考えさせる問いかけをする。<br>○ 話し合い活動の目的や本時のめあてを確認させ、話し合いの助言者として、方向性を示す。   |
| 展開 | 2 考えてきた大そうじの計画について意見を出し合う。<br>3 出てきた意見をもとに、比べ合う。<br>4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。 | ○ 考えてきた意見やノートに書いてきたものを発表できていない児童がいれば、発表するよう促す。<br>○ 教室以外の場所(廊下、水道、昇降口等)にも着目させる。<br>○ 論点がずれないように、今、何を話し合っているかを確認させながら話し合いを進める。<br>◇ 教室に「ありがとう」の気持ちを伝える大そうじの方法について、話し合い活動に参加することができたか。 |
| 終末 | 5 本時の活動をふり返り、教師の話を聞く。  | ◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。<br>※ 大そうじに必要な道具(爪楊枝、綿棒等)は教師が用意する。  |

### (3) 事後の活動(第2時に向けた事前の活動)

| 児童の活動内容(活動の場)                                      | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|--|--|
| ・ 話し合い活動で決まったことをもとに、清掃分担の希望を考える。<br>(休み時間・ふれあいタイム) | ○ 実施する際の時間の確保をするとともに、活動内容の詳細について学級内で決め、説明する。<br>○ 清掃の分担について、内容と人数の割り振りを行う。 |

(4) 本時の活動(第2時)

① 活動テーマ例 「6年〇組ピカピカ計画！」

② 活動のねらい 校舎に「ありがとう」の気持ちを伝える大そうじをしよう。

| 児童の活動内容 |  | 教師の支援(○)・評価(◇)  |
|---------|--|---|
| 開始      | 1 教師の説明を聞く。  | ○ 活動の目的や本時のめあてを再確認させ、清掃の仕方や注意事項、時間等を説明する。                 |
| 展開      | 2 大そうじを実施する。<br>(活動例)<br>・教室の床の水拭き<br>・棚の水拭き<br>・床のほこり取り<br>・窓ふき | ○ 活動の工夫が見られた児童を取り上げ、称賛する。<br>◇ 友達と協力して活動したり、工夫して取り組んでいるか。 |
| 終末      | 3 本時の活動をふり返り、教師の話聞く。   | ○ 教室に感謝の気持ちをもって話合いや活動ができたことを称賛する。                         |

(5) 事後の活動

| 児童の活動内容(活動の場)                       | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|-------------------------------------|--|
| ・大そうじを通して学んだことを、学級生活に活かす。<br>(常時活動) | ○ 学級全体で協力して取り組むことができた姿を称賛し、次回も今回と同様に協力して計画、実施していくことが大切であることを伝える。 |

1 題材名 今年度最後の思い出作りをしよう【内容(1)】 指導の時期 1月

## 2 題材について

3学期に入り、卒業がいよいよ目前に迫ってくるこの時期に、小学校生活の思い出を何らかの形で残すことは、これまでの生活を振り返り、自分の成長を確かめることができる有意義な活動である。例として、本項では、これまでの行事での活躍や学級生活での思い出を写真や動画で残す活動について示す。

写真や動画にコメントをつけるなどして作成し(「思い出ムービー」とする)、思い出ムービーの制作にあたってはテーマや全体の構成について十分に話し合わせ、写真や動画の取り込みについてはコンピュータソフトを使い、教師の支援をもとに児童のアイデアをできるだけ実現した形の映像にしたい。また、思い出ムービーを制作する構想の過程で、これまでに関わった人々への感謝の気持ちに気付けるよう支援したい。

## 3 題材の目標

- 自分たちの成長を振り返り、思い出ムービーにまとめる際にどのような構想にするかについて友達とアイデアを出し合い、意欲的に話し合おうとする。(関・意・態)
- 自分たちの成長をまとめるにあたり、どんな人々との関わりを入れるか、また、どんな行事や出来事を入れるとよいかを考えて発表することができる。(思・判・実)
- 自分たちの成長を振り返り、関わった人々や行事などをもとに、自分たちを支えてくれたものに対して感謝の気持ちをもつことができる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道德教育 ★その他

- ◎ 多くの人との関わりの中に、様々な学びがあったことに気づき、自他の存在についてかけがえのないものであることが分かる。(知性)
- ◆ 自分たちの成長を振り返る中で、関わった人々に感謝の気持ちをもつことができるようにする。(2-(5) 尊敬・感謝)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

| 児童の活動内容(活動の場)  | 教師の支援(○)   |
|--|--|
| ・ 計画委員(司会グループ)が、思い出ムービーに入りたい行事や思い出について考えてくるよう話す。<br>(朝の会・帰りの会) | ○ 思い出ムービー(コンピュータソフト)自体は、教師主導で制作することを伝える。<br>○ 過去の思い出ムービーを見せ、アイデアを思い付きやすくしたり、意欲を高めたりする。 |

### (2) 本時の活動(第1時)

- ① 活動テーマ例 「今年度最後の思い出作りをしよう」
- ② 活動のねらい みんなの成長を振り返り、思い出に残るムービー作りの計画を立てよう。

|    | 児童の活動内容                    | 教師の支援(○)・評価(◇)  |
|----|----------------------------|---|
| 開始 | 1 司会を中心に議題の確認をする。          | ○ 司会中心に話し合いを進められるよう、必要に応じて助言する。<br>○ 全体構想や必要な場面、登場人物に絞って話し合わせる。 |
| 展開 | 2 思い出ムービーについて考えてきた意見を出し合う。 | ○ 今までの行事や学習活動の中で、写真が多く残っているものを挙げ、児童が振り返りやすいようにする。               |
| 開  | 3 出てきた意見をもとに、比べ合う。         | ◇ 行事や学習活動の中で、思い出に残っていることや出来事について発表することができたか。                    |
| 終  | 4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。     | ◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。   |
| 末  | 5 本時の活動をふり返り、教師の話聞く。       |   |

### (3) 事後の活動

| 児童の活動内容(活動の場)                                | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|--|--|
| ・ 教師とともに写真や資料を選定し、思い出ムービーを制作する。<br>(ふれあいタイム) | ○ 児童から挙げたアイデアを取り入れ、計画委員(司会グループ)とともに思い出ムービーを制作する。後日、発表会を行う。 |

# 1 題材名 感謝の集い【内容(1)】

指導の時期 2月

## 2 題材について

スクールガードリーダー、見守り隊、交通指導員の方々は、常に児童の安全な生活のために力を貸して下さっている。しかし、児童は登下校時にあいさつはするが、感謝を直接伝える機会というのではない。また、地域の方やボランティアの方がこういった活動をしているかということはほとんど知らない。

そこで、そうした方々に対して感謝の気持ちを表すための方法を考え、話し合い活動を行うことで、地域の方やボランティアの方の取り組みを知り、感謝の気持ちを直接伝える活動を行う。話し合いで決まったことは、代表委員会に提案され、会の進行によっては、「感謝の集い」で実際に行われることになる。学級ごとの話し合いで、実際に実行できる内容を建設的・能率的に話し合わせ、学級として1つの意見に集約する話し合い活動になることが考えられる。話し合いに折り合いをつけさせながら、「感謝の会」にふさわしい活動となるよう配慮する。

## 3 題材の目標

- 感謝の会について進んで話し合い活動に参加するとともに、地域の方やボランティアの方に感謝の気持ちを伝えようとしている。(関・意・態)
- 感謝の会のために、様々なアイデアや活動の工夫について意見を発表し、建設的・能率的な話し合いをすることができる。(思・判・実)
- 地域の方やボランティアの方の活動が分かり、どんな思いから感謝の会をするのかを話し合うことを通して、地域の方やボランティアの方の大切さが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 自分たちの思いを伝えられるような活動を考え、発表することができる。(技能)
- ◆ お世話になっている地域の方やボランティアの方への感謝の気持ちを表す会をする活動を通して、感謝の心を育てる。(2-(5) 尊敬・感謝)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

| 児童の活動内容(活動の場)                   | 教師の支援(○)        |
|---------------------------------|-----------------|
| ・ 感謝の会について教師の話聞く。<br>(朝の会・帰りの会) | ○ 感謝の会について説明する。 |

### (2) 本時の活動(第1時)

- ① 活動テーマ例 「お世話になった人へありがとうの気持ちを伝えよう」
- ② 活動のねらい お世話になっている地域の方やボランティアの方への感謝の気持ちを表すにはどんな活動をしたらよいか考えよう。

|    | 児童の活動内容   | 教師の支援(○)・評価(◇)  |
|----|---|---|
| 開始 | 1 司会を中心に議題の確認や話し合い活動のねらいについて話を聞く。                                       | ○ 司会中心に話し合いを進められるよう、必要に応じて助言する。<br>○ 児童が中心となって感謝の会を行える活動になるよう伝える。   |
| 展開 | 2 感謝の会について考えてきた意見を出し合う。<br>3 出てきた意見をもとに、比べ合う。<br>4 比べ合ったことをもとに、意見をまとめる。 | ○ 実施可能な内容か、また準備物を作成するまでにどのくらい期間が必要か考えながら話し合いを進め、実施不可能であれば代案を示す。<br>○ 全校生で感謝の会を行うことを伝え、1年生でも実施可能な内容であることを伝える。<br>◇ 地域の方やボランティアの方に感謝の気持ちを伝えるには、どんな活動をしたらよいかを考えて、話し合い活動に参加し、自分の意見を発表することができたか。 |
| 終末 | 5 本時の活動をふり返り、教師の話聞く。  | ◇ 話し合いのめあてを達成することができたか。   |



(3) 本時の活動(第2時)

① 活動テーマ例 「お世話になった人へありがとうの気持ちを伝えよう」

② 活動のねらい 感謝の会を開くための準備をしよう。

|    | 児童の活動内容   | 教師の支援(○)・評価(◇)  |
|----|---|---|
| 開始 | 1 代表委員会の児童からの説明を確認する。<br>2 教師の説明を聞く。                        | ○ 活動の目的や本時のめあてを再確認させ、注意事項を説明する。   |
| 展開 | 3 準備をする。<br>(活動例)<br>・手紙を書く<br>・花束を渡す<br>・歌を歌う<br>・プレゼントを贈る | ○ 必要に応じて役割分担を行い、下級生や会場全体の準備にも取り組むよう声をかける。<br>○ 準備の中で新たに必要になったことや改善する点は、最後に全体で確認、説明する。<br>◇ 友達と協力し、計画に従って、感謝の会の準備を実行することができたか。 |
| 終末 | 4 本時の活動をふり返り、教師の話聞く。  | ○ 地域の方やボランティアの方に対するどんな思いからこの活動をするのかを振り返り、意識付けを図る話をする。   |

(4) 事後の活動

| 児童の活動内容(活動の場)   | 教師の支援(○)・評価(◇)   |
|---|--|
| ・ 計画にもとづいて準備をしたり練習をしたりする。<br>(休み時間・ふれあいタイム)<br>・ 感謝の会を実施する。 | ○ 協力している姿や、真剣に取り組んでいる姿を称賛する。<br>◇ 計画に従って、感謝の会を実行し、地域の方やボランティアの方に感謝の気持ちを伝えたり楽しんでもらったりすることができたか。 |